



日本触媒

株主のみなさまへ

第110期(中間) 営業のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社 日本触媒

証券コード 4114

目次

日本触媒グループ長期ビジョン	1
企業理念・経営理念、社是	1
ごあいさつ	2
連結業績ハイライト	3
セグメント別概況(連結)	5
連結財務諸表	7
トピックス	8
会社の概要	9
役員	10
株式の状況	10

長期ビジョン

「TechnoAmenity for the future」

〈2030年の目指す姿〉

- 人と社会から必要とされる素材・ソリューションを提供
- 社会の変化を見極め、進化し続ける化学会社
- 社内外の様々なステークホルダーとともに成長



〈2030 年の目指す姿に向けた 3 つの変革〉

①事業の変革

◆既存分野から成長分野へのポートフォリオ変革

- ・収益性の高いソリューションズ事業を拡大
- ・事業基盤強化に向けマテリアルズ事業を抜本的に立て直し
- ・DX推進による生産性向上、新たな価値の創出

②環境対応への変革

◆2050年カーボンニュートラル実現に向けたサステナビリティ推進

③組織の変革

◆成長し続ける組織、多様な人財がいきいきと働く会社への変革

日本触媒グループ 企業理念

TechnoAmenity

私たちはテクノロジーをもって
人と社会に豊かさと快適さを提供します

経営理念

人間性の尊重を基本とします
社会との共生、環境との調和を目指します
未来を拓く技術に挑戦します
世界を舞台に活動します

社是

「安全が生産に優先する」

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は2021年に創立80周年を迎えました。これもひとえに株主のみなさまをはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と厚く御礼申しあげます。

それでは、第110期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日）の事業の概況につきご報告申しあげます。

当中間期の概況

当中間期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しの動きがみられ、景気回復の程度は国や産業により異なるものの、経済活動の再開が進められるなかで推移しました。米国では景気が着実に持ち直しており、欧州でも景気に持ち直しの動きが見られました。中国では景気の緩やかな回復が継続しており、アジア新興国でも、一部で感染の再拡大による下押しの懸念はあるものの、景気の下げ止まりや持ち直しの動きがみられました。

日本経済は、設備投資や生産活動は持ち直しており、輸出も増加傾向が続くなど、企業収益は総じて改善の動きが見られました。一方で、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響でサービス支出を中心とした個人消費の動きは弱く、非製造業では弱さが残りました。

化学工業界におきましては、需要は回復傾向にあり稼働率も上昇するなど、持ち直しの動きがみられました。また景気回復に伴う需要増加などにより原油価格が上昇し、国産ナフサ価格が上昇しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の売上収益は、原料価格の上昇や製品海外市況の上昇に伴い

販売価格が上昇したことや、販売数量が増加したことにより、前年同期に比べて483億2千万円増収(38.8%)の1,729億8千8百万円となりました。

利益面につきましては、海上輸送費の高騰などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、生産・販売数量の増加や、一部製品の海外市況の上昇、在庫評価差額などの加工費が減少したことなどが増益要因となり、加えて、前期に計上したニッポンシヨクバイ・ヨーロッパN.V.の減損損失17億7千9百万円がなくなったため、営業利益は、前年同期に比べて163億6千5百万円増益の151億7千7百万円となりました。

税引前四半期利益は、営業利益や持分法による投資利益の増加などにより、前年同期に比べて178億2千2百万円増益の177億5千万円となりました。

その結果、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期に比べて135億3千3百万円増益の123億5千万円となりました。

配当金について

当期の中間配当金につきましては、経営環境、業績並びに今後の事業展開を勘案し、前期中間配当金に比べ30円の増配と当社創立80周年記念配当の5円を合わせた1株当たり80円といたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

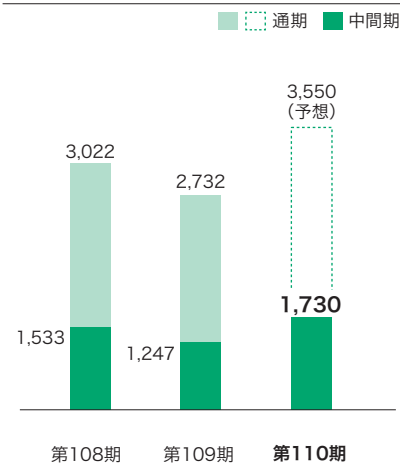
2021年12月

代表取締役社長

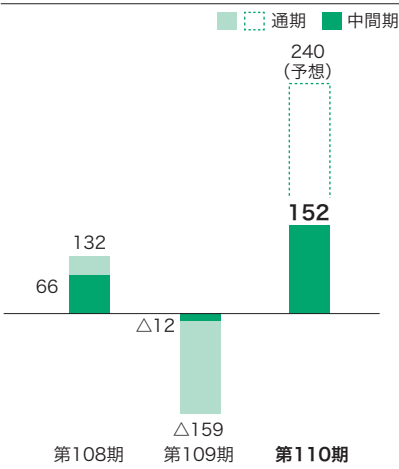
五嶋祐治朗

連結業績ハイライト

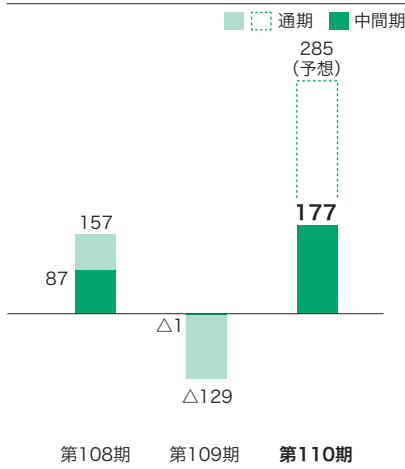
売上収益 (億円)



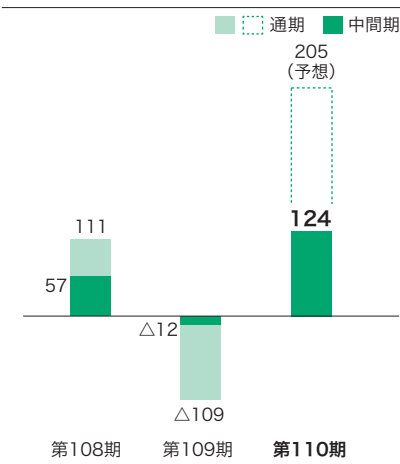
営業利益 (△損失) (億円)



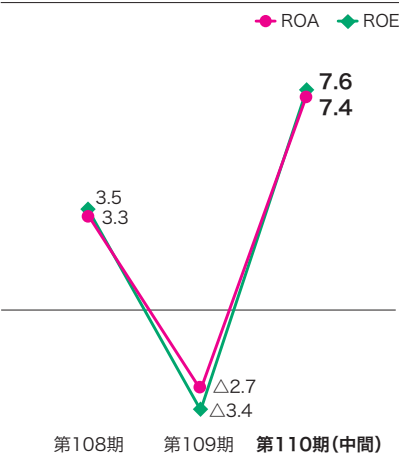
税引前四半期(当期)利益 (△損失) (億円)



親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益 (△損失) (億円)

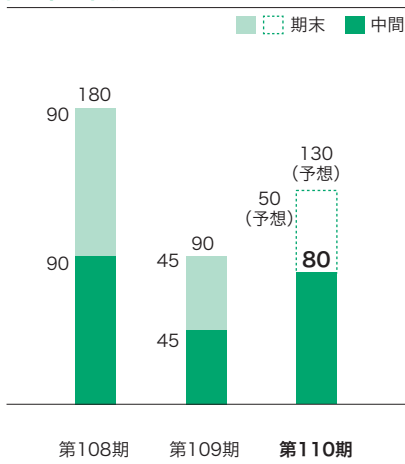


ROA(資産合計税引前四半期(当期)利益率)(%)
ROE(親会社所有者帰属持分四半期(当期)利益率)(%)



※第110期(中間)のROA及びROEは年換算しております。

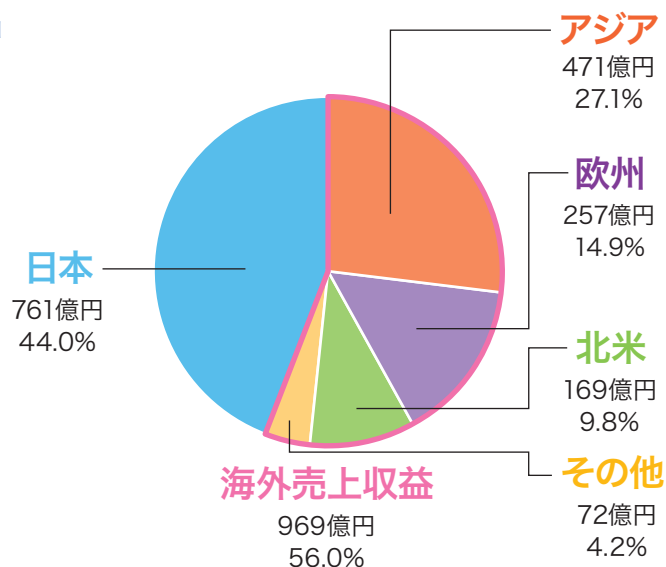
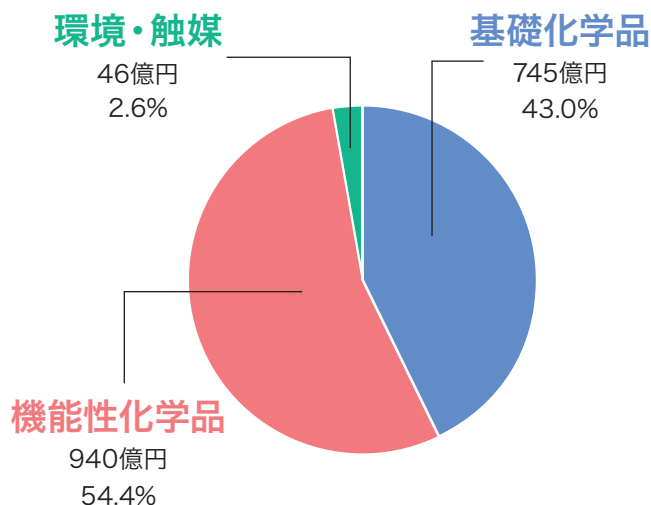
配当金推移 (円/株)



※ 第110期通期の業績予想の数値は2021年10月29日に、期末配当予想の金額は2021年8月5日に公表したものです。実際の業績及び配当金は、さまざまな要因により、これらの予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

セグメント別売上収益／構成比

地域別売上収益／構成比



基礎化学品事業



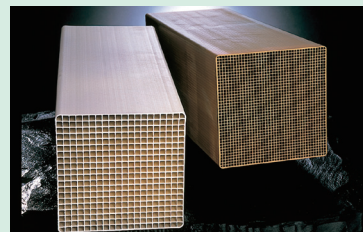
セカンダリーアルコールエトキシレート (用途例：衣料用洗剤)

機能性化学品事業



高吸水性樹脂 (用途例：紙おむつ)

環境・触媒事業



脱硝触媒

【主要営業品目】

- アクリル酸
- アクリル酸エステル
- 酸化エチレン
- エチレングリコール
- エタノールアミン
- セカンダリーアルコールエトキシレート
- グリコールエーテル

【主要営業品目】

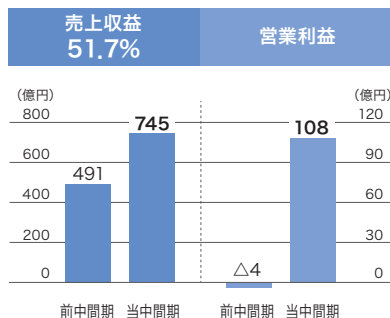
- 高吸水性樹脂
- 特殊エステル
- 医薬中間原料
- コンクリート混和剤用ポリマー
- 電子情報材料
- ヨウ素
- 無水マレイン酸
- 粘接着剤・塗料用樹脂
- 粘着加工品

【主要営業品目】

- 自動車触媒
- 脱硝触媒
- ダイオキシシン類分解触媒
- プロセス触媒
- 排ガス処理装置
- 燃料電池材料

セグメント別概況(連結)

基礎化学品事業



エチレングリコール (用途例: PETボトル)

アクリル酸及びアクリル酸エステルは、原料価格の上昇や製品海外市況の上昇などにより販売価格が上昇したことや、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

酸化エチレンは、原料価格の上昇により販売価格が上昇したことや、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、販売数量が減少しましたが、製品海外市況の上昇による販売価格の上昇などにより、増収となりました。

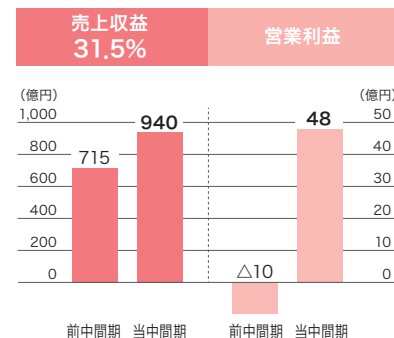
セカンダリーアルコールエトキシレートは、販売数量が増加したことや、原料価格の上昇などに伴い販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上収益は、前年同期に比べて51.7%

増加の744億5千3百万円となりました。

営業利益は、製品海外市況の上昇によるスプレッドの拡大や、生産・販売数量の増加、在庫評価差額などの加工費が減少したことなどにより、前年同期に比べて112億6百万円増益の108億1千1百万円となりました。

機能性化学品事業



高吸水性樹脂は、原料価格や製品海外市況の上昇に伴う販売価格の上昇や、販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

特殊エステルは、製品海外市況の上昇などに伴い販売価格が上昇したことや、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、洗剤原料などの水溶性ポリマー、エチレンイミン誘導品及び塗料用樹脂は、販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

樹脂改質剤及び粘着加工品は、販売数量が増加したことや、原料価格の上昇などに伴い販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、販売数量は減少しましたが、原料価格の上昇などで販売価格が上昇したことにより、増収となり



コンクリート混和剤用ポリマー（用途例：橋梁）

ました。

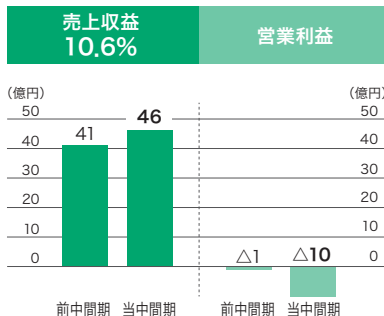
電子情報材料は、販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

ヨウ素化合物は、販売数量は増加しましたが、製品販売構成により、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上収益は、前年同期に比べて31.5%増加の939億8千4百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量の増加や、在庫評価差額などの加工費が減少したことなどにより、前年同期に比べて58億2千1百万円増益の48億2千万円となりました。

環境・触媒事業



リチウム電池材料（用途例：電気自動車用バッテリー）

プロセス触媒は、販売数量が減少しましたが、販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

脱硝触媒及び燃料電池材料は、販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

リチウム電池材料は、製品販売構成により、減収となりました。

湿式酸化触媒は、販売数量が減少

したことにより、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上収益は、前年同期に比べて10.6%増加の45億5千1百万円となりました。

営業利益は、在庫評価差額などの加工費が増加したことや、生産・販売数量の減少などにより、前年同期に比べて8億3千9百万円減益の△9億6千1百万円となりました。

創立80周年記念社史

「日本触媒80年のあゆみ」完成

当社は、2021年に創立80周年を迎え、80年の歴史を記した社史「日本触媒80年のあゆみ」（A4サイズ、全296ページ）を作製しました。第1部に50周年社史「日本触媒化学工業50年のあゆみ」の圧縮版、第2部に50周年以降の30年の記録という2部構成に、グループ会社の紹介、資料編を加えた内容となっています。

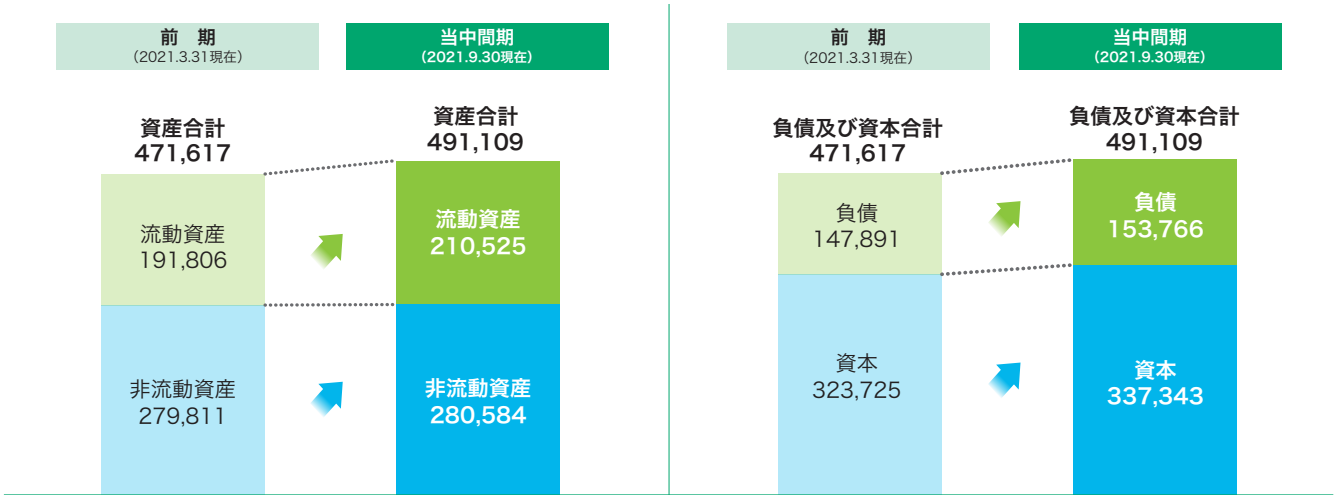
今般、ご希望される株主のみなさまに社史を進呈いたします。詳細につきましては同封の応募はがきをご覧ください。



日本触媒80年のあゆみ

連結財務諸表

連結財政状態計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)

科 目	前中間期 (2020.4.1 から 2020.9.30 まで)	当中間期 (2021.4.1 から 2021.9.30 まで)
売上収益	124,668	172,988
売上原価	104,922	136,300
売上総利益	19,746	36,688
販売費及び一般管理費	19,894	22,823
その他の営業収益	1,221	1,722
その他の営業費用	2,260	410
営業利益(△損失)	△ 1,188	15,177
金融収益	929	721
金融費用	205	197
持分法による投資利益	392	2,049
税引前四半期利益(△損失)	△ 72	17,750
法人所得税費用	777	4,983
四半期利益(△損失)	△ 850	12,767
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△ 1,183	12,350
非支配持分	333	416
四半期利益(△損失)	△ 850	12,767

連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

科 目	前中間期 (2020.4.1 から 2020.9.30 まで)	当中間期 (2021.4.1 から 2021.9.30 まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,639	16,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,342	△ 11,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,442	△ 6,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 199	252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,656	△ 2,127
現金及び現金同等物の期首残高	43,869	36,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,526	34,214

バイオマス由来高吸水性樹脂で 国際持続可能性カーボン認証を取得

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、ベルギー子会社NIPPON SHOKUBAI EUROPE N.V.(以下「NSE」)で生産する高吸水性樹脂(以下「SAP」)について国際持続可能性カーボン認証機関^{*1}(以下「ISCC」)よりバイオマスの認証を取得いたしました。

主に紙おむつに使われているSAPは、プロピレンから製造されるアクリル酸が主原料ですが、NSEではバイオマス由来のプロピレンからアクリル酸を生産し、そのアクリル酸を使ってバイオマスSAPを生産することについて、ISCCよりISCC PLUS認証(マスパランス方式^{*2})を取得いたしました。バイオマスSAPの品質は石油由来の従来品と同等で、バイオマスSAPを使用することで、製品ライフサイクル全体のCO₂排出量削減にも寄与します。今後、顧客ニーズに応じてバイオマスSAPを供給する体制を順次整えてまいります。

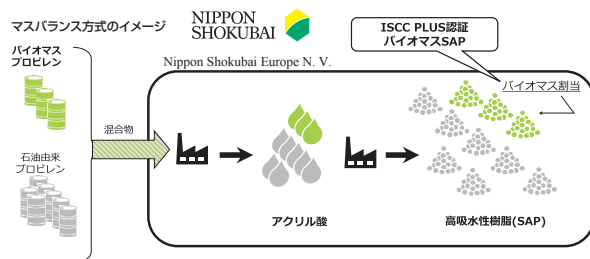
当社は、バイオマスSAP以外に、生分解性SAP、使用済み紙おむつからSAPを回収しそれを再生したリサイクルSAPなど、環境負荷低減に寄与するサステナブルSAPの研究開発に取り組んでおり、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

^{*1} ISCC(International Sustainability and Carbon Certification)

バイオマスや廃プラスチックなどのサステナブル原料や循環型製品などにおいて、100か国以上、4,000を超える認証の実績があり、欧州を始めとして世界で広く認知されている世界最大の認証機関の一つ。

^{*2} マスパランス方式(物資収支方式)

生産に使用する原料にバイオマス由来と石油由来が混合された場合、原料として使用したバイオマス由来の割合を特定の最終製品に任意に割り当てるもの。



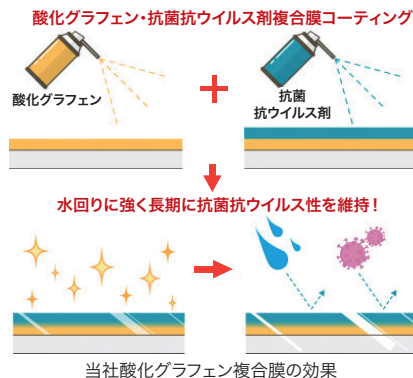
水で洗っても落ちない抗菌・抗ウイルス 酸化グラフェン複合膜を開発

当社と北海道大学病院歯周・歯内療法科の宮治裕史講師のグループは、新規ナノカーボン材料である酸化グラフェンと抗菌・抗ウイルス剤を組み合わせることで、水に濡れる環境等においても種々の菌や新型コロナウイルスの不活化効果を発揮する酸化グラフェン複合膜を開発しました。

酸化グラフェンは、多くの酸素官能基を有する薄片構造で、各種基材への高い付着性を持ち、様々な材料との複合化が容易です。この特性を活かして、次世代電池材料、抗菌・抗ウイルス、コーティング、潤滑剤、水浄化用、触媒等の幅広い分野での応用が期待されており、当社では酸化グラフェンの工業化に向けた種々の課題を解決し、量産化技術を確認しています。

今回開発した複合膜は、酸化グラフェンと抗菌・抗ウイルス剤を組み合わせたもので、水に濡れる環境下でも抗菌・抗ウイルス効果を発揮することが確認されました。そのため、耐水性と抗菌・抗ウイルス性を両立し、しかも無色透明のため各種基材の色味を損なわないことから、シンクや風呂場といった水回り環境、結露しやすい窓ガラスやサッシなどへの応用が期待されます。

当社は今後も、様々なニーズに対応した素材の提供による事業の拡大を目指してまいります。



※「水で洗っても落ちない」、「耐水性」などの効果は、今回実験を行った基板・条件で確認されたことであり、全ての材質・環境で同様の効果が出るわけではありません。

トピックス

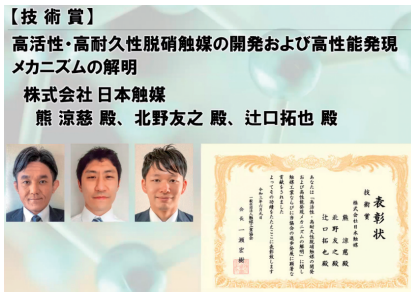
触媒工業協会「技術賞」受賞 排ガスを無害化する脱硝触媒メカニズムを解明

当社は、このたび「高活性・高耐久性脱硝触媒の開発および高性能発現メカニズムの解明」の研究に対し、一般社団法人触媒工業協会 令和3年度協会表彰「技術賞」を受賞いたしました。

本研究の対象であるV/TSM触媒は、発電所や都市ごみ焼却施設で使用され、排ガスの窒素酸化物（NOx）を無害化する当社開発の脱硝触媒です。低温域でも十分な処理性能を発揮し、耐久性も優れているため、必要触媒量や触媒交換頻度の低減および排ガスの再加熱に必要なエネルギーの削減が可能になり、CO₂削減の効果が期待されています。

当社は、京都大学大学院工学研究科の田中庸裕教授のご協力の下、理化学研究所の大型放射光施設SPring-8などを利用したX線吸収微細構造（XAFS）による解析や、X線回折法、赤外吸収法といった社内分析技術を駆使し、触媒の構造などを詳細に解析しました。その結果、200℃未満の低温域では、触媒の劣化原因物質となるチオ硫酸アンモニウムが生成することを発見、また、V/TSM触媒は、脱硝活性に優れ、チオ硫酸アンモニウム等の硫酸アンモニウム塩の分解能力にも優れることから、触媒の劣化が抑制されることを解明しました。

当社は、今回得られた知見を今後の研究開発に活かし、地球環境負荷の低減に貢献してまいります。



受賞者と表彰状

会社の概要 (2021年9月30日現在)

商 号	株式会社日本触媒
(英文表示)	NIPPON SHOKUBAI CO., LTD.
設立年月日	1941年8月21日
資 本 金	25,038百万円
従 業 員 数	4,603名(連結)/ 2,450名(単独)
事 業 所	
大阪本社	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 (興銀ビル) 電話 (06)6223-9111(総務部)
東京本社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目2番2号 (日比谷ダイビル) 電話 (03)3506-7475(東京総務部)
川崎製造所	
千鳥工場	〒210-0865 神奈川県川崎市川崎区千鳥町14-1
浮島工場	〒210-0862 神奈川県川崎市川崎区浮島町10-12
姫路製造所及び姫路地区研究所	
	〒671-1282 兵庫県姫路市網干区興浜字西沖992-1
吹田地区研究所	
	〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町5-8

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	五嶋祐治朗
代表取締役専務執行役員	入口治郎
取締役常務執行役員	野田和宏
取締役常務執行役員	高木邦明
取締役常務執行役員	渡部将博
取締役常務執行役員	住田康隆
取締役(社外)	長谷部伸治
取締役(社外)	瀬戸口哲夫
取締役(社外)	櫻井美幸
監査役	有田義広
監査役	和田輝久
監査役(社外)	和田頼知
監査役(社外)	高橋司
常務執行役員	吉田雅也
常務執行役員	松本行弘
常務執行役員	小林高史
常務執行役員	梶井克規
執行役員	荒川和清
執行役員	齊藤群
執行役員	肱黒修樹
執行役員	岡義久
執行役員	金井田健太
執行役員	佐久間和宏
執行役員	片岡伸也

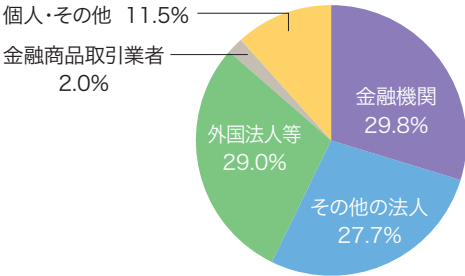
株式の状況 (2021年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 普通株式 127,200,000株
- 発行済株式の総数 普通株式 40,800,000株
- 株主数 10,050名
- 大株主(上位10名)

順位	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,490	11.26
2	住友化学株式会社	2,727	6.84
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,150	5.39
4	E N E O Sホールディングス株式会社	2,129	5.33
5	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,579	3.96
6	株式会社りそな銀行	1,373	3.44
7	三洋化成工業株式会社	1,267	3.17
8	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,132	2.84
9	株式会社みずほ銀行	948	2.37
10	東洋インキSCホールディングス株式会社	904	2.26

- ※1 当社が当中間期末において保有している自己株式924千株については、上記の表中から除いております。
- ※2 持株比率については、自己株式数を控除して算出しております。
- ※3 持株数及び持株比率については、表示単位未満を切り捨てております。

■所有者別分布状況



※自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

本営業のご報告中、注記しているものを除き、記載金額及び比率は表示単位未満を四捨五入しております。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
電子公告	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載して行います。
公告の方法	

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の口座振込のご指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

当社ウェブサイトのご案内 (株主・投資家の皆様へ)

<https://www.shokubai.co.jp/ja/ir/>

日本触媒 IR



The screenshot shows the Shokubai Investor Relations website. At the top, there's a navigation bar with links for '最新情報' (Latest Information), '会社情報' (Company Information), '製品情報' (Product Information), 'R&D', 'サステナビリティ活動' (Sustainability Activities), '株主・投資家の皆様へ' (To Shareholders and Investors), and '採用情報' (Recruitment Information). The main content area features a large banner for 'TechnoAmenity' with the tagline 'TechnoAmenity for the future'. Below the banner, there are sections for '最新情報' (Latest Information) and '株主・投資家の皆様へ' (To Shareholders and Investors). The '最新情報' section includes a table with dates and titles of recent announcements. The '株主・投資家の皆様へ' section includes links to various reports and documents.

ささきしょうこ選手 応援サイトのご案内

当社所属のプロゴルファー・ささきしょうこ選手の応援サイトを、当社ウェブサイト内に開設しています。同選手のプロフィールや出場予定・結果などを掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.shokubai.co.jp/ja/sasaki/>



The screenshot shows the Shoko Sasaki Official Website. It features a large image of Shoko Sasaki in a blue golf outfit, swinging a club. Below the image, the text 'ささきしょうこ' (Shoko Sasaki) is written in large characters, followed by 'Shoko Sasaki OFFICIAL WEBSITE'. At the bottom, there's a pink banner with the text '日本触媒はささきしょうこ選手を応援しています。' (Shokubai supports Shoko Sasaki).